

歴史と文教の城下町

広報

たかなべ

2021

5

No.430



東京 2020 オリンピックがいよいよ開幕します。これに先立ち、令和 3 年 3 月 25 日から福島県を皮切りに東京 2020 オリンピック聖火リレーがスタートしました。121 日間かけて全国 47 都道府県を巡るオリンピック聖火リレーは、4 月 25 日に高鍋町でも行われました。



五輪がまちにやってきた！

TOKYO 2020 TORCH RELAY IN TAKANABE



高鍋町でのオリンピック聖火リレーは、日南市からオリンピック聖火を受け取り、高鍋保健所をスタートしました。町内では 16 人のオリンピック聖火ランナーがオリンピック聖火をつなぎ、高鍋町代表として選ばれた黒水健太くんは、高鍋町、木城町、川南町、都農町より選出された 20 人のサポートランナーと一緒に高鍋町最終区間を笑顔で力強く走り抜けました。なお、オリンピック聖火リレーでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、声を出さずに拍手で応援することなどが呼び掛けられました。



ゴールの舞鶴公園では、オリンピック聖火の到着を祝うミニセレブレーションが行われ、人数制限の下、舞鶴一座秋月鼓童による太鼓演舞や、記念のフォトセッション、オリンピック聖火の納火などが行われ最後まで多くの人の笑顔や拍手であふれた一日となりました。オリンピック聖火は、7 月 23 日に開会式が行われるオリンピックスタジアム（新国立競技場）へとつながっていきます。

朝倉市との姉妹都市交流

高鍋町は、高鍋藩秋月氏の縁で、福岡県朝倉市、宮崎県串間市、山形県米沢市の3市と姉妹都市として交流を深めています。中でも、姉妹都市の一つである朝倉市とは、スポーツ少年団や町民同士の交流、学校間交流、文化交流などを積極的に行っています。「朝倉市・高鍋町スポーツ少年団姉妹都市交流事業」では定期的に、町と朝倉市の小学生(スポーツ少年団員)が、スポーツや野外活動を通じて交流を深め、姉妹都市の歴史的背景や地域文化の特性を学んでいます。また、毎年、美術作品の交換展示を相互に行うほか、数年に1度、姉妹都市(朝倉市)文化交流会を開催し、お互いの都市を訪れて文化芸能公演を行っています(2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になりました)。

●●● 秋月中学校の修学旅行の様子(3月17日) ●●●

●●● 姉妹都市文化交流会の様子(2019年) ●●●



▲舞鶴公園で「高鍋町観光ガイドの会」会長から説明を受ける生徒たち



▲「稽古館の教え」を暗唱する生徒たち



▲朝倉市での高鍋町文化芸能公演の様子

3月17日、朝倉市立秋月中学校の2年生23人が修学旅行で高鍋町を訪れました。生徒たちは舞鶴公園と高鍋町歴史総合資料館を訪れた後、高鍋町役場で黒木町長の講話を聞きました。その後、生徒全員で「稽古館の教え」を暗唱しました。

「稽古館の教え」は、秋月藩の藩校であった「稽古館(観)」の教育方針や教育内容が記されている古文書「稽古観文武公令」(秋月博物館史料)を十五箇条に要約したものです。高鍋藩7代藩主秋月種茂公の次男である秋月藩8代藩主黒田長舒公は、「人づくりは国づくり」の考えのもと、稽古館を充実・発展させ、優秀な人材を輩出しました。秋月中学校では、「稽古館の教え」を暗唱し、その教えを大切にしている取り組みを続けています。

第35回

第20回

国民文化祭・みやざき2020 全国障害者芸術・文化祭みやざき大会

高鍋町 開催イベント紹介



～歴史彩る～高鍋の城址！日本の城址！写真展



▲写真家:森田 敏隆氏

高鍋城址・高鍋町の四季の風景および全国各地の城址写真コンテストを行い、以下の日程で応募作品の展覧会を実施します。9月12日には、写真家・森田敏隆氏による風景写真や城址をテーマとした講演会を開催します。

日時 ①写真展
9月11日(土)～26日(日)
10:00～17:00

②講演会(写真家:森田 敏隆氏)
9月12日(日) 14:00開演

ところ 高鍋町美術館

入場料 写真展・講演会ともに
無料(講演会のみ先着230人予定)

写真作品大募集

町内風景や全国の城址写真を募集中です。皆様のご応募をお待ちしています。

【賞】

- ◆最優秀賞(キャノン賞)
1点 賞状とデジタルカメラ
- ◆優秀賞(高鍋町長賞)
2点 賞状と高鍋町特産品
- ◆奨励賞(高鍋町教育長賞)
5点 賞状と高鍋町特産品



▲詳しくはこちらをチェック



みんなで楽しむ いけばなの祭典

公益財団法人日本いけばな芸術協会による、「いけばな芸術展(作品展示)」と「いけばな体験教室」です。道具は全て準備していますので、皆様のご参加をお待ちしています。

日時 ①公益財団法人日本いけばな芸術協会
いけばな芸術展
10月8日(金)～10日(日)10:00～17:00

②いけばな体験教室
10月8日(金) 障がいのある方のいけばな体験教室
10月9日(土) こどもいけばな体験教室(小中高生)
10月10日(日) いけばな体験教室(一般)
各日2回 11:00～ 14:00～

ところ たかしんホール
(高鍋町中央公民館)

入場料 無料(要事前申込)



▲詳しくはこちらをチェック



宮崎アーティストファイル「ギフト展」

障がい者アーティストにスポットを当てた企画展を行います。学芸員のインタビューによる作家の作風に至る背景や見どころなどを紹介するパネルを設置し、鑑賞者の作家への親近感、作品への理解度を高めます。

日時 10月2日(土)～17日(日)
10:00～17:00
(入館は16:30まで)
※10月4日(月)・11日(月)は休館日

ところ 高鍋町美術館

観覧料 無料



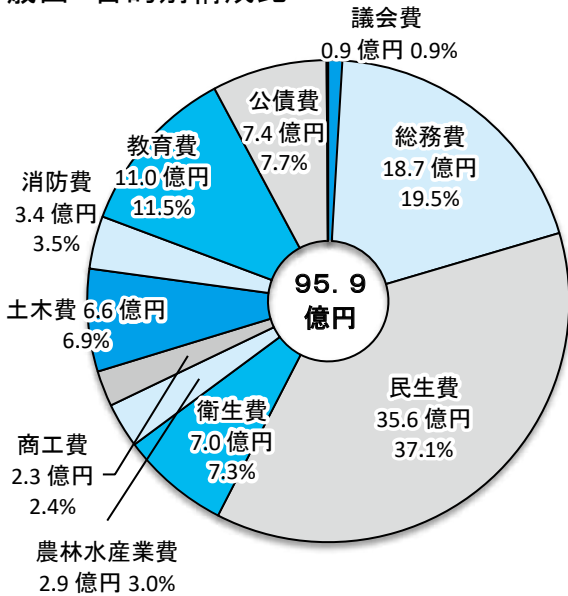
▲過去の企画展の様子

令和3年度 高鍋町一般会計当初予算 95億8,800万円

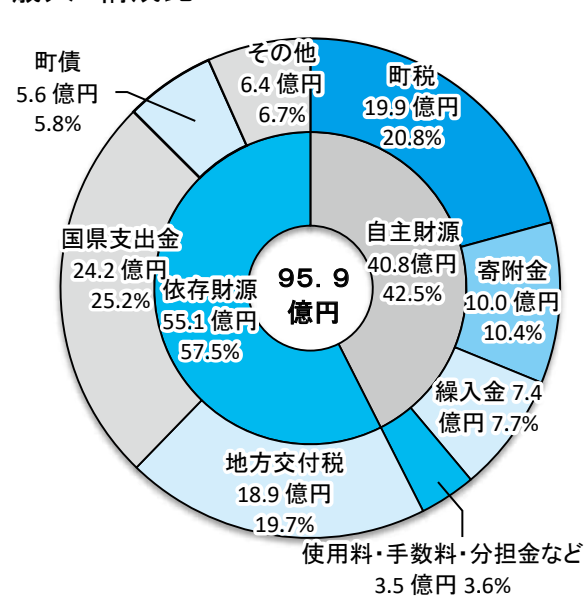
令和3年度高鍋町一般会計当初予算は、2月に執行された町長選挙に伴う骨格予算として、最低限必要な経費に絞って予算を編成しました。新規事業としては、わかば保育園大規模改修事業、母子包括支援センター事業、成年後見利用促進事業委託、商工会館借上料、商工会館周辺駐車場整備工事などを計上しました。

予算規模は、骨格予算のため政策的事業に係る経費が減っているものの、新型コロナウイルス感染症対策費、令和2年度から継続して実施している防衛施設周辺道路改修等事業による道路改修事業費や総合体育館大規模改修事業費の増、扶助費をはじめとする社会保障費が伸び続けている影響などにより、総額95億8,800万円、前年度比1,000万円の減額となりました。

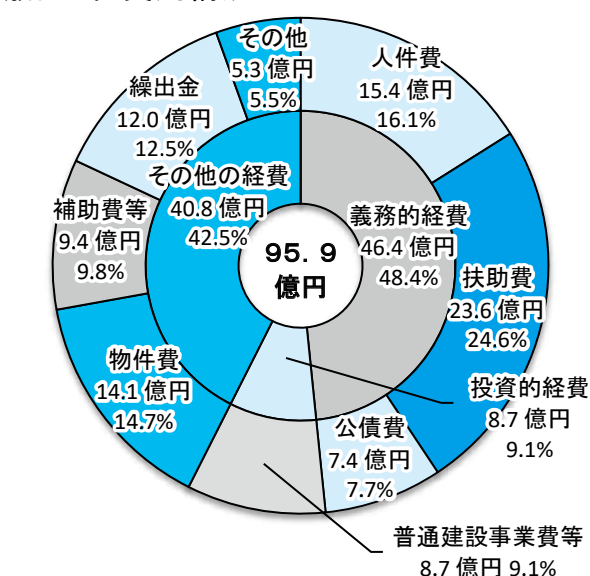
歳出 目的別構成比



歳入 構成比



歳出 性質別構成比



自主財源…町が自らの権限や財産等により得る収入

依存財源…国・県などから交付されたり、借りたりして得られる収入

※ () 内は、前年度当初との比較

一般会計	95億8,800万円	(△0.1%)
特別会計	54億3,122万7千円	(△6.2%)
国民健康保険	24億4,184万円	(△7.0%)
後期高齢者医療	5億3,129万3千円	(0.0%)
下水道事業	3億4,719万2千円	(△4.0%)
介護保険	19億1,778万3千円	(△4.0%)
介護認定審査会	1,069万6千円	(3.5%)
一ツ瀬川雑用水管理事業	2,095万円	(21.8%)
西都児湯固定資産評価審査委員会	47万1千円	(17.8%)
工業用地造成事業	1億6,100万2千円	(△35.1%)
一般・特別会計 合計	150億1,922万7千円	(△2.4%)

義務的経費…支出が義務付けられ任意に削減することが困難な経費

投資的経費…施設や道路のインフラ整備など、資産が将来に残るもの

その他の経費…上記以外の行政活動のために必要な経費

※グラフの数値は、四捨五入など端数調整のため計数が一致しない箇所があります。

水道事業	収益的収入	5億2,126万1千円	(△3.5%)
	収益的支出	4億7,233万4千円	(0.6%)
	資本的収入	7,000万3千円	(△22.2%)
	資本的支出	3億966万7千円	(△14.3%)

令和3年度に実施する主な事業について新規事業を中心に紹介します

※事業費は万単位で四捨五入しています。

【総務費】

ふるさと納税推進事業 10億円
ふるさと納税の寄附者へ贈る返礼品の代金や送料などの経費のほか、寄附金の一部を基金に積み立てる費用です。

新 商工会館周辺駐車場整備工事 1,000万円
商工会館周辺の駐車場（現在の教育委員会前駐車場）の整備を行います。

新 商工会館借上料 670万円
町が商工会館の一部を借り上げるための経費です。

衆議院議員選挙費 897万円
4年ごとに行われる衆議院議員選挙に係る経費です。

【民生費】

新 保育対策総合支援事業費補助金 150万円
町内の保育所が、保育士の業務負担軽減を図るため、ICT等を活用した業務システムを導入する費用の一部を補助します。

新 成年後見利用促進事業委託 493万円
地域における権利擁護体制の充実を図るため、こゆ成年後見支援センターを児湯6町村共同で開設します。

子ども・ひとり親家庭医療費助成事業 7,900万円
中学生以下の子どもに係る医療費の無料化等に要する費用です。

わかば保育園大規模改修事業 1億3,572万円
老朽化したわかば保育園園舎を改修し、よりきめ細やかな保育を行います。

【衛生費】

新 母子包括支援センター事業 229万円
保健師等を雇用し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。

予防接種事業 5,290万円
乳幼児、小中高生及び高齢者に対して定期予防接種及び任意予防接種を実施するための経費です。

【農林水産業費】

尾鈴地区土地改良区施設改修事業負担金 464万円
経年劣化している尾鈴地区土地改良区の水管理システム、堤体観測装置等の改修の負担金です。

肉用牛生産基盤強化促進事業 264万円
肉用牛の繁殖基盤の拡大を図るため、優良雌牛・肥育素牛導入、高齢母牛の更新に対して、費用の一部を助成します。

【土木費】

町道維持整備事業 1,350万円
町道の補修や側溝の管理を行い、安心で安全な車両及び歩行者の通行を確保します。

防衛施設周辺道路改修等事業 2億3,148万円
防衛省補助を活用して、生活道路の改良など安全で快適な道路環境整備を実施します。

【教育費】

新 スクールサポートスタッフ配置事業 151万円
国県補助を活用して、教師がより児童生徒への指導に注力できるようサポートするスクールサポートスタッフを、東西小中学校に配置します。

総合体育館大規模改修事業 3億6,364万円
防衛省補助を活用して、老朽化した総合体育館の大規模改修を行います。

【新型コロナウイルス感染症対策費】

保育所等感染症対策支援事業 910万円
保育所や放課後児童クラブ等が感染症対策を徹底し、事業を継続的に提供するための経費に対して補助を行います。

新型コロナウイルスワクチン接種費 9,025万円
新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用です。

高鍋農業高校舞鶴牧場に、新しく肥育牛舎が完成しました。これまでの子牛の生産を中心とした繁殖経営の実習から、生産した子牛を肥育して牛肉を生産するまでの一貫経営の実習へと学習内容を広げていきます。4月21日には、実習の安全を祈願するとともに、今後の学習への動機付けを図ることを目的に竣工式を執り行いました。

新牛舎は、牛衡計による生育管理、細霧装置による衛生・暑熱対策、超音波画像による肉質診断やリモート管理システムによるスマート畜産など、次世代の畜産経営に対応した施設となっています。

同校では、県外から生徒を募る「全国枠」が2022年度の入学試験から導入されます。県外の生徒も一緒に取り組みながら、全国的に和牛が盛んな本県の特徴を生かし、本県畜産を支える優秀な人材の育成に取り組んでいきます。



▲フェンスで囲まれ、入り口に車両消毒装置を備えた牛舎



▲牛舎全景



▲30頭の肥育牛を飼うことができます

認知症に優しいまちに



▲贈呈式の様子

昨年10月、帰宅困難になった認知症の高齢男性の安全を確保したとして、町は3月25日に高鍋西中学校2年（当時）の泥谷歩夢さんに感謝状を贈りました。

泥谷さんは、帰宅途中に車道にいる男性を発見しました。小学生の頃に認知症サポーター養成講座を受けた経験を生かし「危ないので歩道に行きましょう」と優しく声を掛け、安全な場所に誘導しました。周囲の大人に男性を引き渡したところ、男性は警察に無事保護され、家族のもとへ帰ることができました。

同校での贈呈式で泥谷さんは「大きな事故につながらなくて良かった」と話されました。



▲西小学校での取り組みの様子。個人で新聞を作り、完成後に発表し合った。



高鍋西小学校5年生85人は、認知症への理解と関心を高めるためにオリジナルの新聞作りに取り組み、3月25日には5年3組で発表会を行いました。

総合的な学習の一環で、児童たちは2月から本やビデオなどを活用し、認知症の症状などを調査。調べた内容を1人ずつ紙面に分かりやすくまとめ、発表しました。

児童たちに対して認知症サポーター養成講座を行った町の認知症地域支援推進員の図師いくみさんは「勉強したことを生かしてサポートし合える町を目指してほしい」と応援の言葉を贈りました。

オヤトコ ～親と子サポートルーム～

妊娠中から出産後も、子育てのことを相談できるサポートルームがコンフォール健康センター（高鍋町健康づくりセンター）内にできました。保健師や助産師、管理栄養士が相談をお受けします。

日 時：月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前9時～午後5時
場 所：コンフォール健康センター
電 話：23-2323

